

IEP 配慮チェックリスト
ACT QualityCore コース終了時の評価

2015 年 11 月改訂

以下に特定した州の配慮評価は、生徒の IEP に書かれている教育用配慮を反映したものです。これは生徒が指示を与えられたり、教室で試験を受けるときに常に教室内で提供されているもので、これまで成功を納めています。IEP チームが記入する場合、このチェックリストは生徒の IEP の一部になります。

オンライン試験 (OT) _____ ペーパーによる試験 (PT) _____

名前: _____ 学校名: _____ 学年: ____ 年: ____ 科目: _____

A. 予定を立てる配慮。試験は以下の様に行われます:

- 1. 生徒に最も利点のある時刻に。(個人別)
- 2. 試験を二日間にかけて行うことによって。(個人別)
- 3. 標準的な時間に休憩を追加することによって。(個人別)
- 4. セッション当たりの限度時間を標準的な時間の 2 倍を超えない程度に延長する。(個人別)
- 5. 障害の性質と評価の性質のため、その他の必要な配慮を用いて。

ALSDE 承認時のみ。

B. A. 配慮の設定・実施。試験は以下の様に行われます:

- 1. 生徒の家庭で。(在宅生徒/PT のみ)
- 2. 言葉で生徒に説明が提供される間、手話の通訳を使って。(通訳は説明のみを通訳します。通訳は項目の意味を明らかにしたり、または解釈をしてはいけません。)
- 3. 障害の性質と評価の性質のため、その他の必要な配慮を用いて。

ALSDE 承認時のみ。

C. 書式および/または装置の配慮。試験は以下の様に実施されます:

- 1. 拡大装置。
- 2. 読み手用の原稿を使った、試験を実施する人による読み上げ。(PT のみ/個人別)
- 3. ヘッドホンを使って DVD による読み上げ (PT のみ)
- 4. 読み手用の原稿を使った、**正確な英語のみ**の手話。(PT のみ/個人別)
- 5. 視力障害のある生徒向けのそろばん。
- 6. 大きな文字の回答欄付きの大きな文字の試験文書。
- 7. 点字。
- 8. 通信装置。
- 9. 障害の性質と評価の性質のため、その他の必要な配慮を用いて。

ALSDE 承認時のみ。

D. 録音の配慮。試験は以下の配慮を用いて行われます:

- 1. 生徒は試験冊子の回答に印をつけます。(PT のみ)
- 2. 生徒の回答は筆記者によって記録されます。(PT のみ/個人別)
- 3. 障害の性質と評価の性質のため、その他の必要な配慮を用いて。

ALSDE 承認時のみ。